

塩竈市議会だより

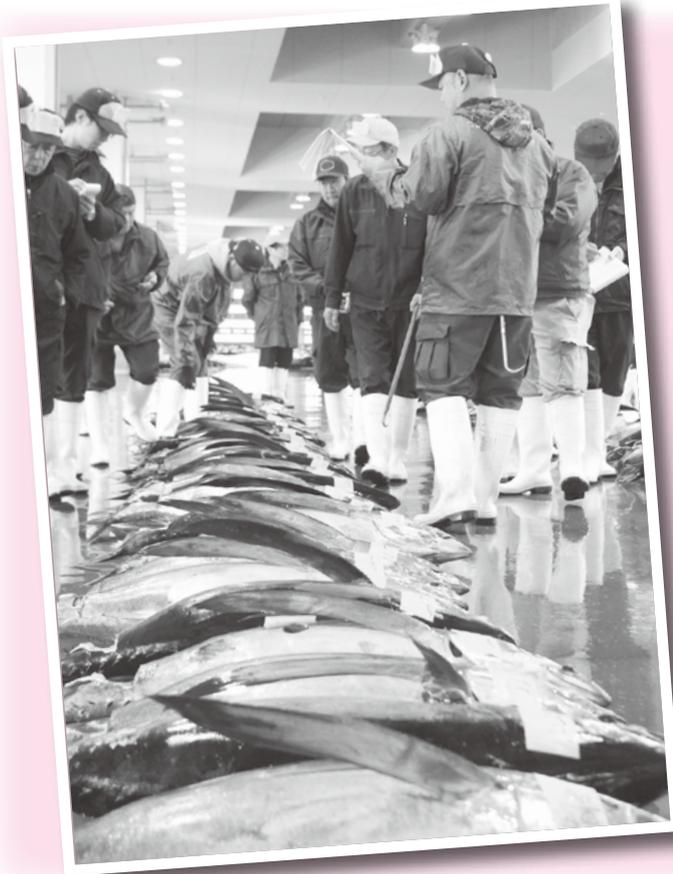
令和元年 12月定例会号

- 議案審議の概要、請願 P 2
- 常任委員長報告 P 3
- 討論 P 4
- 市政に対する一般質問 P 5～9
- 議案等賛否一覧表 等 P 10

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(355)6793 Feb.2020 (令和2年2月)
 ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/shise/shiogamashi/index.html>



【塩竈市議会HP QRコード】
 市議会の情報は市議会HPで
 ご覧になれます。



令和2年
 塩竈市魚市場での初セリ

定例会会議日程

- | | |
|-----|--|
| 本会議 | 12月9日 会期の決定、諸般の報告、請願付託、議案説明・総括質疑及び議案付託 |
| 委員会 | 12月11日 総務教育常任委員会
12月12日 民生常任委員会
12月13日 産業建設常任委員会 |
| 本会議 | 12月16日 市政に対する一般質問
12月17日 市政に対する一般質問 |
| 委員会 | 12月18日 議会運営委員会 |
| 本会議 | 12月19日 各常任委員会委員長報告・議案審議・討論及び採決、総務教育常任委員会・民生常任委員会委員長請願審査報告・請願審議及び採決 |

令和元年12月定例会は、12月9日から12月19日までの11日間の会期で開催しました。

本会議の初日では、請願2件を所管の常任委員会に付託しました。

さらに、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑の後、所管の常任委員会へ付託しました。

各常任委員会は3日間開催し、付託した議案、請願の審査を行いました。

本会議2日目と3日目は、8名の議員が市政に対する一般質問を行い、当局の見解をいただきました。

最終日には、各常任委員長から審査結果の報告を受け、議案15件を可決、請願2件を閉会中の継続審査とし、閉会しました。

(議案の件名と審議結果は10ページ)

定例会のあらまし

補正予算7億3257万9千円の増額補正を可決

12月定例会における一般会計・特別会計補正予算額は、7億3257万9千円で補正後の予算総額は、526億2550万4千円となりました。主な事業は次のとおりです。

一般会計

【補正額】

6億1885万7千円

1 台風第19号関連事業

【補正額】9732万1千円

① 防災対策事業

(補正額1744万8千円)

東日本大震災復旧・復興事業において、本市へ業務支援のため職員派遣等をいただいた被災自治体に対し、本市職員の派遣等による支援を行う災害対策支援事業

② 伊保石公園災害復旧事業

(補正額1700万円)

被災した伊保石公園におけるがれきの除去等

③ 災害救助費

(補正額717万9千円)

災害救助法の適用となる避難所開設に係る人件費や備蓄品の補充等の経費、被災



令和元年台風第19号に係る丸森町への給水支援(水道部)

住宅修理に係る所要額

④ 廃棄物適正処理推進費

(補正額373万4千円)

中倉埋立処分場に仮置きした災害廃棄物の分別・処理に係る業務委託等

⑤ 市営住宅維持管理費

(補正額295万円)

台風被害を受けた市営住宅の雨漏れや窓ガラス破損等の修繕

⑥ 道路維持費

(補正額200万円)

台風被害を受けた市道等の土砂等の除却

2 震災復興交付金事業

【補正額】

1億6380万8千円

① 震災復興交付金基金費
復興交付金基金繰入金不用額の積戻し

3 災害関連事業

【補正額】

1億6814万2千円

① 漁港施設災害復旧費

(補正額1億5000万円)

寒風沢漁港H-1m物揚場災害復旧工事の手戻り工事

② 災害救助費

(補正額1320万1千円)

災害義援金の計上

③ 東日本大震災追悼式開催費

(補正額494万1千円)

追悼式開催経費の計上

4 通常事業

【補正額】

2億2194万4千円

① 生活保護扶助費

(補正額)

1億2541万7千円

医療扶助費対象者の増

② 財産管理費

(補正額908万4千円)

塩竈市役所に隣接した土地及び家屋の購入

③ 子育て・三世代同居近居住宅取得支援事業

(補正額500万円)

市外からの転入人口増加

5 決算整理に向けた補正

【補正額】

▲9572万9千円

① 本庁舎施設設備改修事業
(補正額)

▲5076万8千円

北側プレハブ解体工事等を次年度以降に実施

6 特別会計からの繰入金

【補正額】2096万1千円

下水道事業からの繰入金

7 債務負担行為

① 塩竈市子どもの学習支援事業
(限度額600万円)

② 令和元年度寒風沢漁港H-1m物揚場工事
(限度額1億5000万)

③ 清掃工場施設運転管理・残灰運搬等業務委託 外5件
(限度額)

3億3885万8千円

8 地方債補正

① がけ地対策債外1件を追加

② 本庁舎施設改修事業外1件
を變更

2 下水道事業

【補正額】

1億953万2千円

① 一般管理費

(補正額3817万1千円)

② 下水道ストックマネジメント事業
(補正額5040万円)

ポンプ場のリスク評価等

③ 一般会計繰出金

(補正額2096万1千円)

平成30年度実質収支額を繰越金として計上するとともに、一般会計繰出金を計上し、精算を行う。

条例

○塩竈市印鑑条例の一部を改正する条例 外7件

請願

○継続審査としたもの
審議結果は次のとおりです。

▼政府及び国会に対し「ライドシェア」に関する意見書の提出を求める請願

▼国民健康保険財政調整交付金の「子ども被保険者分」を活用した子どもに関わる均等割の減免制度創設を求める請願

特別会計

【補正額】

1億1372万2千円

1 国民健康保険事業

(補正額419万円)

① 一般管理費

国民健康保険システム改修

常任委員長

報告

12月定例会において、議案15件を各常任委員会に付託し、慎重に審査が行われました。委員長報告の要旨は次のとおりです。



総務教育常任委員会

委員長 志子田 吉 晃

◎議案第73号及び第74号、第78号及び第79号、第82号、第84号、第86号及び第87号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

「会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例についての要望意見」

○会計年度任用職員の募集に当たっては、統一的な採用基準等を設けるとともに、現在任用中の非常勤職員等に対し、当該制度の丁寧な説明を行うよう努められたい。

「一般会計補正予算要望意見」
○東日本大震災追悼式開催費については、手話通訳のスクリーン投影等の視覚的な情報伝達方法を検討され、高齢者や聴覚に障がいのある方へ配慮に努められたい。

○被災児童生徒就学援助事業及び小学校教育振興援助事業費、並びに中学校教育振興援助事業費については、学用品等に係る経費を入学前支給する際、転入・転出に伴う支給漏れや、二重支給等が無いよう努められたい。

「塩竈市公民館本町分室及び塩竈市杉村惇美術館の指定管理者の指定についての要望意見」
○指定管理者候補者の募集開始から、申請書の提出締切りまでの期間が短い。市が定める「指定管理者制度導入の手引き」では、原則として一箇月以上を確保するとしているが、より多くの事業者からの応募を募るため、先進事例を研究され、募集期間等の改定を検討されたい。

また、新たな杉村惇作品の調査研究や展示作品の魅力を知周する取組を強化し、来館者の増加に努められたい。
「一般職の職員の給与に関する条例及び塩竈市一般職の任

期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例についての要望意見」
○本市では、多くの中小企業の経営環境が悪化しており、その従業員と市職員の給与等の格差が大きくなりかねない。地域経済の活性化と人口増加策を一層図られ、市民感情と乖離しない給与体系の在り方についても研究されたい。
「特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例についての要望意見」
○市当局では、これまで多様な行財政改革や地域経済の活性化を図る取組を行っており、議会でも、議員定数について、適宜、議論を行ってきた。

特別職の職員の給与等の適正な水準と議員のなり手不足問題等、市長と議会は、多くの市民の意見を拝聴しながら、それぞれの諸課題に取り組んでいくべきである。



民生常任委員会

委員長 阿部 かほる

◎議案第75号、第79号及び第80号、第83号は原案のとおり

可決すべきものと決しました。
「塩竈市藤倉児童館及び塩竈市放課後児童クラブの指定管理者の指定についての要望意見」
○塩竈市藤倉児童館及び塩竈市放課後児童クラブの指定管理者の指定については、市と保護者が情報交換等を行う場の創設に努められたい。
また、運営に当たっては、利用者や保護者の意見を反映するとともに、事故等の防止の観点からも放課後等デイサービス等関係機関との更なる連携強化を図られたい。



産業建設常任委員会

委員長 山本 進

◎議案第76号及び第77号、第79号、第81号、第85号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「塩竈市下水道事業の設置等に関する条例についての要望意見」
○下水道事業が公営企業会計に移行することに伴い、料金体系や市民負担の在り方、一般会計からの繰入の基準等が議論されることになるが、内容について、市民や議会へ十

分に伝わっていない状況にある。
公営企業会計への移行によるメリットとデメリットも合わせ、より理解されるよう周知に取り組みされたい。
「一般会計補正予算要望意見」
○災害関連地域防災がけ崩れ対策事業は、台風第19号により崩落した宮町地区の法面に於いて、国の補助事業を活用し、対策工事を行うものであるが、近隣住民への説明を尽くされ、不安の解消を図られるよう早急に対応されたい。
また、周辺地区は、宮城県が土砂災害警戒区域等指定箇所指定していることもあり、総合治水対策を検討されることともに、全国的に豪雨災害が多発していることから、市内全域での点検を改めて実施され、災害の未然防止を図られたい。
○漁港施設災害復旧費は、寒風沢漁港H-1m物揚場の災害復旧工事について、コンクリート打設後に沈下が確認され、手戻り工事を行うものであるが、新設工事の施工に当たっては、事業が停滞することのないよう事前の現場調査を徹底され、早急な復旧に努められたい。

討 論

12月19日の本会議において討論を行いました。その概要は次のとおりです。

議案第80号

反対討論 議案第80号は、医療機関等で診察を受ける場合にマイナンバーにより資格確認を行うための電子化の準備に係る補正予算である。

反対する理由は、医療機関と患者の負担の増加、プライバシー流出や侵害の危険性の問題からである。医療機関の混乱と負担の増加という点で

は、窓口でマイナンバーカードを出す方と保険証を出す方が混在することになり、対応がより複雑になるのは、間違いない。また、資格確認は、オンラインレセプト請求システム用の回線が使われる予定であるが、オンライン請求を行っていない医療機関が全体的に6割近くに上ると言われており、健康保険組合やまちの診療所等には、システム構築や維持管理、セキュリティ対策等の新たな負担が生じることになる。

オンライン資格確認の設備がない医療機関をマイナンバーカードしか持たない方が受診した場合は、自費診療扱いにして、後日、保険証を持ってきてもらうことになるかと考えられるが、医療機関の都合で一旦自費診療となれば、診療抑制にもなりかねない。

患者とトラブルになることも危惧される。

次に、プライバシーの問題について、政府は、マイナンバーを安易に見せてはならない番号だと説明してきたが、マイナンバーカードを保険証にすれば、マイナンバーカードを多くの人が日常的に持ち歩くことになり、紛失や盗難

によるマイナンバー流出の可能性が著しく増大する。また、この制度を利用して各種医療情報を集積、連結利用し、システムを通じて、電子カルテ等から直接情報を集め、データベース化し、ビッグデータとして各種研究機関や民間に提供することが、計画されている。このように個人情報を利用してすることは、市民の理解と同意が得られていない。

医療情報は、個人にとって最も重要なプライバシーの一つであり、漏れいや目的外利用などが起こったとき、個人の受けられる被害は計り知れない。

市民にとって、マイナンバーをめぐる取組は、期待よりもむしろ心配と不審が先に立っている。約14%という低い普及率がそれを表している。以上のことから反対する。

賛成討論

国民健康保険事業は、市民の健康の保持、増進及び安定した医療を受けるための基礎となる重要な制度である。

今回、提案された「令和元年度塩竈市国民健康保険事業特別会計補正予算」で計上しているオンライン資格確認等システムは、医療保険の被保険者番号を個人単位化し、マイナンバー制度のインフラを活用して、転職、退職等により、加入する保険者がかわっても個人単位で資格情報等の

データを一元管理することにより、マイナンバーカードを健康保険証として利用できるようにするためのものである。

あわせて、被保険者が、マイナンバーを通じて、自身の健診情報や薬剤情報が確認できることにもなり、個人の健康状態や服薬履歴等を本人や家族が把握し、日常生活の改善や健康増進につなげるための仕組みを提供するものである。

また、今回、提案されたオンライン資格確認等システムは、ことしの6月21日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019」

「令和」新時代…「Society 5.0」への挑戦の一環であり、マイナンバーカードを活用した新たな国民生活、経済政策インフラの構築の一端をなすものである。

今後、マイナンバーカードの普及率を高め、さらなる付加価値の向上に資するための施策でもあるが、この仕組みを利用するか否かの判断は、個人に委ねられているもので

あり、強制されるものではない。

その上で、本市国民健康保険がこの取り組みをしなければ、今後のIoT社会（インターネット・オブ・シングス社会）での利便性を享受できないことにもなる。

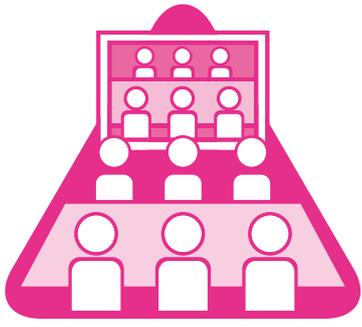
反対者は、マイナンバーカードのセキュリティ面での不備を指摘することを通じて、この制度に反対をしていると認識しているが、このことは国民健康保険被保険者である市民のマイナンバー活用の選

択肢を奪うことにもつながり、利便性の追求を狭めるものである。

目まぐるしく進化する情報化社会の中で、情報が重要な社会インフラであるという認識を持つことが、より効果的で豊かな社会を構築することにもつながるものと考ええる。

以上のことから賛成する。





市政に対する 一般質問

市政に対する一般質問は、12月16日、17日の2日間に8名の議員が行いました。ここでは質問の中から2つ取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行った質問の項目も掲載しています。



日本共産党
塩竈市議員
小高 洋

子育て支援 施策は

議員 出生率の向上、まちの活性化、定住の促進を進める上で、産み育てやすいまちづくりは重要な要素である。

これらは、すぐに数字として表れるものではなく、コストに見合う効果を短期的に追うことが負の影響を与えることもある。

こうした点を踏まえて、子どもの医療費助成について、第5次長期総合計画の総括では、今後に向けた課題として、「子ども医療費助成の所得制限額の拡大・撤廃に向けた財源確保」をあげているが、所得制限撤廃について、市長の考えを伺いたい。

市長 本市では、過去に所得制限を改廃とするか、対象年齢を拡大とするかを検討した結果、平成29年10月から対象者を中学3年生から高校3年生まで拡大した経過がある。

現在の所得制限限度額は、県の助成制度の所得制限と同額としており、仮に所得を緩和した場合には、県の助成事業対象外となり、市の単独財源での財政措置となるため、本市の財政状況や他市町村の状況を踏まえ、今後の見直しに合わせて検討してまいりたい。

本市の保育 行政は

議員 待機児童・保留児童の現状と本市の待機児童解消に向けた目標と取組について次の2点を伺いたい。

①保育分野における政策的考



閉所される新浜町保育所

え方の一つに、保育の提供区域や提供量を設定する際、よきめ細やかに設定するため、小学校区や中学校区を元に設定する方法があるが、市長の考えは。

②新浜町保育所の閉所と海岸通子育て支援施設の閉所の現状と課題、杉の入小学区の保育を守って欲しいという地域と保護者の切なる願いについて、市長の考えは。

市長 ①人口減少・少子化は本市にとっても喫緊の課題である。定住促進策を取る一方で、待機児童が増えていることは、反省すべき点である。今後、各施策の連携が図れるよう分析し、改善してまいりたい。

②各保育所の老朽化問題は大変厳しい状況にある。新たに整備される海岸通子育て支援施設に関しては、構造上や立地上の課題はあるが、それらを解消し、安心・安全な施設づくりができるよう、市民や現場の保育士の声を聴きながら、検討してまいりたい。

その他の質問項目

- ①台風第19号の被害状況は
- ②豪雨水害等の防災・治水対策は

など



日本共産党
塩竈市議員
辻畑 めぐみ

医療用ウィッグ 購入助成は

議員 9月定例会でも提案したが、宮城県がん患者医療用ウィッグ購入助成事業は、がん治療で、脱毛した方が医療用ウィッグを購入した際、市町村が行うがん患者の医療用ウィッグ購入助成事業に対し、補助金を交付するものであるが、県内では28自治体がこの制度を活用している。がんを患った3人に1人は20歳から64歳の就労世代であり、治療の副作用で、脱毛が半年から1年間続くことは、精神的な負担や経済的な負担が大きい。

本市でもこの制度を活用し、医療用ウィッグ購入者に対して、助成を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。

健康福祉部長 県の補助金交付要綱によると、対象となる市町村助成額単価の上限は2万円又は購入経費の2分の1のいずれか低い額となっている。



増便が期待されるNEWしおナビ100円バス

NEWしおナビ 100円バスは

る。
また、助成対象者1人あたり、医療用ウィッグ1台と定められている。
本市でもがん患者の皆様が、治療と就労の両立や療養生活の質の向上を図れるよう、県の制度を活用した助成事業の実施に向けて、今後検討してまいりたい。

議員 NEWしおナビ100円バスについて、次の2点を伺いたい。①多くの市民から土日運行や平日の増便についての要望が寄せられているが、

今後の方針は。②塩竈市地域活動支援センター「藻塩の里」前のバス停設置について、利用者の関係団体から、要望書が提出されているが、今後の設置についての見解は。

市長 ①平成30年度に「NEWしおナビ100円バス利用実態調査」を実施し、「土日祝日便」や「早朝便」、「夜間便」の費用対効果を算出したところ、いずれも料金収入が運行経費を下回り、追加運行を実施した場合には、さらなる財政負担が生じることが明らかとなっている。

また、他の交通事業者の生業を圧迫しないよう、今後の本市の公共交通体系の在り方も踏まえた上で、慎重な判断が必要であると認識している。②新たなバス停の設置に際しては、警察や道路管理者等との協議や、時刻表の改正等の総合的な調整が必要であることから、現地調査を行いながら、設置が可能か検討を進めてまいりたい。

その他の質問項目
① 難聴支援対策は
② みやぎ型管理運営方式は
など



創生会
今野 恭一

塩竈市立病院 の 今後は

議員 昭和20年に開院した塩竈市立病院は、幾多の困難を乗り越え、開院から74年が過ぎた。

しかし、多くの市民からは、病院の今後について、心配の声が寄せられている。塩竈市立病院の経営は、市の一般会計からの繰入金を繰り入れている状況であり、実質的には赤字となっている。このまま赤字経営を続けて行って良いのか。また、塩竈市立病院を民間に売却する方法もあるが、市長の見解を伺いたい。

市長 塩竈市立病院の老朽化や、これまで市の一般会計から平均約6億8千万円を繰り入れてきたことを考えると、経営状況は厳しい状態にあると認識している。
しかし、本年10月に実施した病棟構成の再編以降、11月末現在で医業収益が前年度か

ら約7千300万円改善しており、来年度はこの改善効果が1年分に拡大することを期待している。

また、民間への売却については、どのような形が、市民にとって安心できる医療体制となるのか、議員の皆様や多くの市民と意見交換や議論を重ねてまいりたい。

国道45号線・ 八幡築港線の 渋滞解消は

議員 国道45号線と八幡築港線は、常時渋滞しており、市民からは、「あの渋滞は何とかならないのか」という苦情が数多く寄せられている。



渋滞解消が求められる国道45号線

この問題について、市長の見解を伺いたい。

市長 9月定例会の施政方針でも述べたが、港奥部の埋め立てを行い、大型貨物車等の交通量の多い臨港道路から、北浜沢乙線までの直進の動線を確保することで、物流機能の強化が図られるとともに埋め立てにより新たな空間が創出され、ベイエリアの活用が促進されるものと考えている。

しかし、以前の宮城県港湾計画では、港北部を交流拠点用地として埋め立てる計画であったが、平成20年の改定時に親水空間を確保するため、埋め立て計画を無くした経過がある。

この整備を実現するためには、再度の港湾計画の変更が必要となることから、9月定例会後、国土交通省の港湾局長や宮城県土木部と、意見交換を行った。

今後とも国や県への要望を継続的に行い、実現の可能性を探ってまいりたい。

その他の質問項目
① 幼児教育・保育の無償化は
② 海岸通の再開発は
など



創生会

土見大介

統計情報の活用は

議員 政策の効果を高めていくには、統計情報を根拠とした企画、効果の検証が必要である。

また、塩竈市の現状や政策を市民に伝える際も、具体的なデータを示すことでより理解が深まる。現在、次期長期総合計画の策定作業も進んでいるが、どのように統計情報を活用しているのか見解を伺いたい。

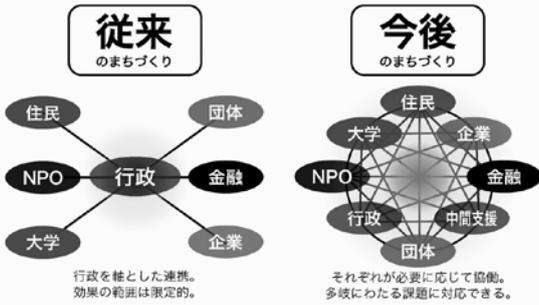
政策課長 これからの自治体の政策立案においては、局所的な事例や経験に頼るのではなく、統計データ等の活用によって、客観的及び合理的な根拠を構築し、政策の効果をより高めることを目指すEBPM（政策の企画において政策的根拠を明確化した上で合理的根拠に基づくものとすること）を意識した事業の構築が非常に重要であると考えてい

る。

国の予算編成においても、すでにEBPMを意識した政策立案をするように各省庁に指示を出している。市民に一番距離の近い自治体があるのはEBPMを取り入れるのは難しい部分もあるが、考え方や理念として非常に重要であると認識している。

協働のまちづくりは

議員 今後のまちづくりは、行政と住民や民間事業者等がそれぞれできることを持ち寄り、複雑多岐にわたる地域課題の解決に協働して取り組ん



協働のまちづくり

でいく必要があるが、市長の考える今後のまちづくり像と協働を加速させるための「場」づくりや会議方法の改善について伺いたい。

市長 協働のまちづくりとは、市や町内会、市民活動団体、企業など多様な担い手の皆様が、それぞれの得意分野において尊重し合い、また、対等に地域課題の解決のために自由で活発なコミュニケーション活動を行い、住んでいてよかったと思えるまち、住み続けたと思えるまちの実現を一緒に目指すことである。

また、協働のまちづくりを推進する上で重要なことは、それぞれの組織の活動目的や資金力、情報収集力が異なることを理解し、お互いの強みを生かせるようにコーディネートすることであると考えている。

様々な審議会におけるメンバーの選定においては、老・壮・青のバランスやこれまで選ばれなかった団体等からも人選し、丁寧に進めてまいりたい。

- その他の質問項目
- ① 防災・災害対策は
 - ② 浦戸振興は



オール塩竈の会

西村勝男

塩竈市立病院建設基礎調査事業を踏まえた方向性は

議員 塩竈市立病院建設基礎調査事業を踏まえた市立病院の今後の方向性について次の3点を伺いたい。①市立病院建設基礎調査事業を踏まえた新市長の考え②病院建設基礎調査事業を踏まえた病院事業管理者の考え③いつまでに市長は結論を出すのか。

市長 ①施設の現状を踏まえて病院や庁内で議論した上で、宮城県や地元医師会等広く意見を伺いながら議論や理解を深めてまいりたい。悠長に考えている時間がないことも認識している。現在、市立病院で、取り組んでいる改革プランの推移を見ながら対応については、病院事業管理者と相談をしていきたい。

③建設ありきではなく、市立病院の現状や将来の見通しを議論した上で決まることであると考えている。幅広く議論

した上で、加速度的に進む少子高齢化の中で、病院の建設や運営について、議論を深めるべきであると認識している。病院事業管理者 ②年間約12万人の方が市立病院を利用している。病院建設基礎調査事業では、地域において必要不可欠な病院であると結論を出していただいている。

トンネルコンポスト方式の導入は

議員 地球温暖化による気候変動や自然災害が一段と深刻になる中、循環型社会に向け、ごみ処理事業においては、基本的な考え方が変化してきて



塩竈市清掃工場

市政に対する一般質問

いる。香川県三豊市では、生ごみ等を発酵・分解することにより発した熱で紙ごみ等を乾燥させ、固形燃料化することとでごみを資源として有効活用するトンネルコンポスト方式によるごみ処理を民設民営で行っており、リサイクル率も本市の約3倍である。本市もトンネルコンポスト方式を導入してはいかかかと考えるが、市長の見解を伺いたい。

市長 トンネルコンポスト方式のメリットは、ダイオキシンが発生しないこと、初期投資費用や施設運営費用が安価であること等が挙げられるが、一方で、デメリットとして広い敷地を必要とすること、固形燃料は、排出ガス等の基準を満たしたボイラー設備を有している事業者を受け入れ先に選定する必要があること等が挙げられる。

本市としては、宮城東部衛生処理組合への加入に向け協議を重ねている。まずは、加入に係る課題の解決に向け、検討を行ってまいりたい。

- その他の質問項目
- ① みなと塩竈・ゆめ博は
 - ② 自治体クラウドの導入は
 - ③ みやぎ型管理運営方式は



オール塩竈の会
阿部 かほる

子ども子育て支援は

議員 子ども子育て支援に関する次の2点について見解を伺いたい。①産前に医師から安静を指示された場合や、産後の体調不良の場合などに母親が体力の回復と育児に専念できるように家事代行ヘルパー派遣サービス事業の創設について②要望が寄せられている中の島公園への遊具の設置について



遊具の設置が求められている中の島公園

健康福祉部長 ①産前産後に育児支援ヘルパーを派遣する事業については、本市で既に制度化しており、育児支援会議の中で専門職による育児の支援を行うべきか、家事支援的なヘルパーを行うべきか等を決めている。育児支援会議の中でヘルパーを派遣すべきと判断された場合にはヘルパーを派遣するサービスに結び付けていく。

建設部長 ②中の島公園につ

高齢者福祉の充実

いては、管理者である宮城県庁の施工により災害復旧工事が完了し、6月に供用開始されている。周辺に新たな住宅地が造成され、住民のニーズが変わってきていると考えられることから、遊具の設置については、改めて地域の皆様の声も伺いながら必要に応じ宮城県に要望してまいりたい。

議員 高齢化の進展による運転免許証の返上や身体的な理由等により独居高齢者の外出機会が減ってしまうと、身体能力が低下し、介護状態に移

行してしまうことがあるが、市としての対応策について伺いたい。

また、高齢や障がい等により地域のゴミステーションまでごみを運ぶことが困難な方もいる。そういった方々の負担を軽減する観点から、ごみの戸別収集の導入について見解を伺いたい。

市長 本市では、独居高齢者

に対する外出や身体機能維持のための支援策は、高齢者の外出機会を増やし、健康づくりに事業や福祉活動を推進するため低床式マイクロバス「いきシルバー号」の運行や老人福祉活動事業の委託等を行っている。

産業環境部長 ごみの集積所は現在、おおよそ20世帯に1カ所を目安に設置している。

全国的には、既に高齢者等のごみ出しの支援や戸別回収等に取り組んでいる自治体もあるのですが、どのような方々を対象にどのような方法で取り組んでいるかコスト等も含めて検討してまいりたい。

- その他の質問項目
- ① 防災力の向上は
 - ② 学校教育及び教育環境は
 - ③ 浦戸振興は



オール塩竈の会
鎌田 礼二

来年度の予算編成は

議員 今、この時期に数々の「市民人口増加策」を打ち出し、人口減少を食い止め、増加に転ずることが何より大事であり、これを実現せずには塩竈市の明るい未来は無い。

私は、①子育て支援、②転入者への特典、③教育レベル向上、④働き場所の確保、⑤安心安全なまちづくり、⑥魅力あるまちづくりの6項目それぞれに、他市町村より飛び抜けた施策が必要と考える。

来年度の予算に新たな人口増加策を期待するが、予算編成の重点は何か。

市長 公約や9月定例会での施政方針の内容等の実現に向けて、各種施策を重点的に予算化していきたい。特に重点を置くべき施策は、喫緊の課題である少子高齢化、人口減少問題への取組であり、まず



塩竈市立病院

市立病院は

は、子育て支援や教育のさらなる充実、産業の再生、そして市民の皆様が、明るく元気で暮らしていただける地域社会づくりを目指す取組を重点的に進めたい。他市町に比べ、飛び抜けた施策の必要性を考えないと、塩竈に居住する選択は難しいと考えており、検討したい。

議員 過去10年の市立病院の赤字額の平均は、年間6億8千万円である。平成13年から平成30年までの18年間の総額が、約112億円である。今

年度は、既に約4・8億円を一般会計から補てんしている状態である。

この市立病院の経営状況を市長はどのように思うか。

また、新病院建設について、塩竈市立病院建設基礎調査業務委託の調査結果のうち、入院者の割合で、塩竈市民が14%であった。この数値から「一部市民の為の病院」と

「塩竈の市民全体の未来」とを天秤にかけ、市立病院の行方を判断していただきたいが、市長の見解を伺いたい。

市長 施設の老朽化や繰出金等の状況を考えると本当に厳しい状態にあると認識する。

まずは、改革プランをしっかりと実現し、成果を出していかないと、市民の皆様方に納得していただける自治体病院にはならない。総合的に改善策を議論し、よりよい方向を見出す努力を続ける。

新病院の建設ありきでなく、様々な方法を検討し、市立病院の在り方は、幅広くご意見をいただき、議論したい。

その他の質問項目

- ① 豪雨対策は
 - ② 伊保石公園管理の民間委託は
 - ③ 犯罪防止は
- など

人工知能（AI）を活用する保育入所選考システムの導入は



公明党

小野 幸男

議員 自治体向けに人工知能（AI）を使用した保育入所

選考システムが開発され、実証実験し、導入されている。各自自治体による保育所の入所

選考にAIを活用した検証では、これまで手作業でかなりの時間を要していたが、大幅な作業時間の縮減と事務負担

の軽減や選考結果の迅速化などが期待され、AI導入への効果は大きいと考える。

本市の保育所入所選考へのAI導入について市長の見解を伺いたい。

市長 今年度当初の入所調整は、昨年12月中旬から本年1月中旬にかけて行った。申し込みは、新規・継続を合わせ

832名だが、入所調整に係る業務は、1名の職員が専属で担当し、150時間程度の時間を要している。

今年度、子ども・子育て支

援システムの改修を行い、来年度以降AIによる入所選考システムを導入予定である。新たなシステムでは、職員がデータを入力するが、点数化や保育所の割り当て作業は、AIが行うことになり、導入の効果として、作業の効率化に伴う業務量の短縮、公平な選考が見込まれている。

安全運転への支援については

議員 高齢者ドライバーによる死亡事故が多いのは、ペダルの踏み間違いなどの運転操作の誤りとなっている。そこで、車を買って替えることが難



民間企業と連携した高齢者向けの交通安全教室

しい高齢者ドライバーへの安全対策として、後付け安全装置が開発され、購入・設置を補助する自治体が増えており、本市も高齢者ドライバーによる事故が相次ぐ事態の改善へ、補助制度を考えるべきだが、当局の見解を伺いたい。

市民総務部長 本年7月、東京都では、70歳以上の高齢ドライバーが、1割の負担で後付け安全装置を購入設置できるように、取扱事業者に費用の9割、1台当たり10万円を上限に補助する制度を開始したと伺っている。

本市では、魚市場を会場に、民間企業と連携し、高齢ドライバー向けの交通安全教室を開催し、安全運転サポートカーを体験していただいた。国の補正予算に、安全運転サポートカーの新規購入に対する補助とあわせ後付け安全装置導入補助事業も盛り込まれるようであり、65歳以上を対象に、数万円規模の補助との内容と伺っており、国の動向を見極め、対応を考えていく。

その他の質問項目

- ① 高齢者移動手段の確保は
 - ② 土のうステーション設置は
 - ③ 保育士の人材確保は
- など

議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成
×：議案等に対して反対
欠：欠席
／：議長は採決に加わりません

会議名	議案番号 議案件名	会派名 議員氏名											審議結果								
		公明党	日本共産党	産議団	創生会	オール塩竈の会															
		浅野敏江	小野幸男	菅原善幸	曾我ミヨ	伊勢由典	小高洋	辻畑めぐみ	志賀勝利	今野恭一	伊藤博章	山本進	土見大介	香取嗣雄	阿部かほる	西村勝男	阿部眞喜	鎌田礼二	志子田吉寛		
12月 定例会	議案第73号	塩竈市印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第74号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第75号	令和元年台風第19号による被災者に対する国民健康保険税の減免に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第76号	塩竈市災害関連地域防災がけ崩れ対策事業分担金条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第77号	塩竈市下水道事業の設置等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第78号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第79号	令和元年度塩竈市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第80号	令和元年度塩竈市国民健康保険事業特別会計補正予算	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第81号	令和元年度塩竈市下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第82号	工事請負契約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第83号	塩竈市藤倉児童館及び塩竈市放課後児童クラブの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第84号	塩竈市公民館本町分室及び塩竈市杉村惇美術館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第85号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第86号	一般職の職員の給与に関する条例及び塩竈市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第87号	特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

定例会傍聴のお知らせ
 定例会は、年4回（2月・6月・9月・12月）開催されています。
 本会議は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。傍聴をされる方は、市役所（本庁）4階の傍聴席へお気軽においでください。
 なお、傍聴の際は、携帯電話をお持ちの方は、電源を切ってから入室をお願いいたします。
 詳しくは、議会事務局まで。
 （電話 355-6793）

次回の定例会は
2月18日（火）
 午後1時開会予定です

年賀状などの挨拶禁止について
 公職選挙法の規定により、議員は選挙区内で、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状を出すことが禁止されており、市民の皆様のご理解をお願いいたします。
 塩竈市議会議員一同



編集後記
 市議会だより12月定例会号をお届けいたします。
 今年は「庚子（かのえね）」新たな芽吹きと繁栄の始まりの年であると言われております。

また、東京オリンピックが開催される記念すべき年を迎えるに当たり、本市議会でも社会情勢の変化に伴う様々な課題を解決するため、新たな「チャレンジ」と議会改革に取り組み、より一層、市民の皆様への負託に応えられる塩竈市議会となるよう議員一同研鑽を努めてまいります。
 本年もどうぞよろしくお願いたします。
 議会報編集委員会
 委員長 土見 大介